

第1回 八代港の中長期ビジョンに関する検討会
議事概要

日時：令和4年10月13日(木)10:00~12:00

場所：桜十字ホールやつしろ(やつしろハーモニーホール) 中会議室

【主な議事内容】

1) 港湾の高度化や維持管理に関する機能について

○ 船舶大型化、用地、ふ頭間アクセス、浚渫土砂処分場といった課題があり、これらに対応していくことが必要。

○ 八代港は用地が不足しており企業誘致が困難。港湾利用型の企業誘致が必要。

○ 半導体メーカーの進出で工事が進んでおり、建設資材や製造機械、生産資材の輸入の増加が見込まれる。現在のコンテナヤードの面積では、今後、半導体メーカーが稼働を開始した際に八代港での貨物取扱に限界が生じることを懸念。

○ 木材ヤードが不足。背後地からの2次運搬経費の発生やタイムリーに搬出できないという実情がある。

○ 穀物を輸入する際は、満載の状態では八代港に入港できないため、他の港で積荷を降ろし喫水を浅くしてから入港しているのが現状。

○ 八代・天草シーラインが整備され、天草の海産物などを八代港で取り扱うことができれば、輸出も可能となり八代港の活性化にも寄与すると考えられる。

○ 八代市では「スマートシティやつしろ」を宣言している。港湾物流でもDX化を推進していただきたい。

2) 人流・賑わいに関する機能について

○ 県南農水産品輸出拡大、今後のクルーズ受入れといった課題があり、これらに対応していくことが必要。

○ クルーズターミナルへの交通アクセスとして、イベントの開催時期以外でも定期運行するバスなど公共の交通手段が整えば、日頃より八代港を訪れる方が増えると期待される。

(以上)